

東京慈恵会医科大学 医学部看護学科保護者会 第7回総会 記録

日時：2025年6月28日（土）13時00分～13時30分

場所：看護学科校舎1階 大講堂

1. 開会

副会長より、出席者70名、委任状120名により、会則の第8条4項の条件を満たし、総会が成立するとの報告および開会の宣言があった。

2. 学長 挨拶

「保護者会発足から7年目を迎え、今年も1年生から多くの理事が参加し、会が自立自走して役割をしっかりと果たしてくれていることに感謝しています。看護職は患者や困っている生活者の一番近くにあり、悩みや苦しみを全身で受け止めて幸せにする仕事です。その分大変さもあります。学生も一般の大学生と比較して密なカリキュラムに挑んでおり、悩むことが多くあります。そんな学生を大学と保護者が手を携えて支えていくために、保護者会が担う役割は重要ですので、これからも協力をお願いします。」

3. 保護者会役員選任、監事選出について

会長より、資料1をもとに2025年度の理事候補者の紹介があった。また、副会長が次年度の会長を務めるとの説明があり、理事候補者と合わせて承認された。また、会計監査、監事の紹介があった。

4. 会長所信表明

「本日はお忙しい中でお集りくださり、誠にありがとうございます。この3年間、保護者会の活動を通して多くの学びと心温まる出会いがあり、親としてだけでなく、一人の人間としてもたくさん育てていただいたと感じています。日々、実習や課題に一生懸命に取り組むこどもの姿に励まされ、いつも前向きで明るい理事から刺激をもらい、一昨年にはヨガインストラクターの資格を取得し、昨年度は『椅子 de YOGA』という企画で保護者会として初めてファブール祭に参加しました。近隣住民や高校生、先生方、保護者の方々と一緒に体を動かして笑顔になれた時間は、私にとって大きな喜びでありました。日々の教育の中で子どもたちが確実に成長していく姿を見るたびに、慈恵での深く・愛情あふれた学びを実感しています。これからそれぞれの道で医療従事者として歩んでいく子どもたちを、保護者と大学が手を携えて寄り添い、見守り、支えていきたいと考えております。これからの1年、皆様と一緒に、あたたかく笑顔のある保護者会を作っていけたら幸いです。今後どうぞよろしく願いいたします。」

5. 2024年度保護者会活動報告と収支報告

会計担当理事より、資料2-1と2-2をもとに、2024年度の活動と収支について報告があった。

6. 2025年度保護者会活動計画と予算について

会計担当理事より、資料3-1、3-2をもとに2025年度の活動計画と予算案について、昨今の物価上昇の影響を受け、保護者会賞副賞の予算を2万円、懇親会費を3万円増額する。またファブール祭への企画参加準備1万円を追加計上する、との説明があった。予算案は全会一致で承認された。

7. 保護者会懇親会とファブール祭参加企画について

ファブール祭の開催に合わせ、10月25日（土）の午前中に懇親会を開催する。第1部ではメンタルヘルスに関する講演、第2部では椅子ヨガ体験を予定している。また同日午後には、水引きを使った髪飾りのワークショップでファブール祭に企画参加する。詳細を9月下旬ごろにご連絡するので、多くの方に参加いただきたい、との案内があった。

8. 看護学科長 挨拶

「本日の活動報告を聞いて、会の活動が軌道に乗ってきていると感じました。看護学教育に多くの協力をいただいていることに改めて感謝申し上げます。保護者会は2018年に、保護者と教員とで手を携えて学生を支援していくためにお願いして組織してもらいました。今、社会は大きく変化しています。少子高齢化が進み、世

界では紛争が絶えず起こっています。そんな目まぐるしい変化の中でも、本学は人を大切にできる資質の高い医療者を丁寧に育てていきたいと思っておりますので、引き続きご協力くださいますようお願いいたします。」

9. 閉会

副会長より、総会への参加に対する感謝とともに、閉会の挨拶があった。

以上